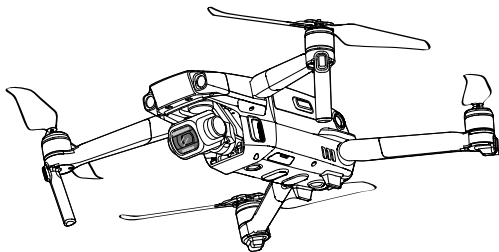


MAVIC 2 PRO

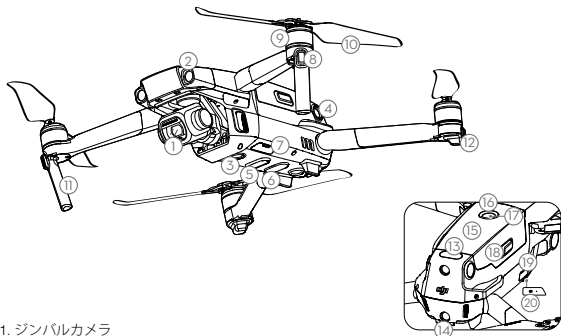
クイックスタートガイド

v1.4



機体

DJI™ MAVIC™ 2 Pro には、全方向性ビジョンシステム、赤外線検知システム*に加え、完全な安定性を実現する3軸ジンバルカメラ（1インチCMOSセンサー搭載：DJIとHasselbladの共同開発）を備え、4K動画と20MPの写真撮影が可能です。障害物検知システム、ハイパーラプスのようなインテリジェントフライトモード／ActiveTrack™ 2.0／クイックショット／パノラマ／高度操縦支援システム（APAS）などのDJI独自技術により、複雑なショットを簡単に撮影できます。Mavic 2 Proの最大飛行速度は72km/h、最大飛行時間**は31分です。



- | | | |
|---------------------|-------------------------|---------------------------|
| 1. ジンバルカメラ | 11. アンテナ | 17. 電源ボタン |
| 2. 前方ビジョンシステム | 12. 機体ステータスインジケータ | 18. バッテリーバックル |
| 3. 下方ビジョンシステム | 13. 上方赤外線検知システム | 19. USB-C ポート |
| 4. 側面ビジョンシステム | 14. 後方ビジョンシステム | 20. リンクボタン／リンクステータスインジケータ |
| 5. 下方赤外線検知システム | 15. インテリジェント・フライト・バッテリー | |
| 6. 底部補助ライト | 16. バッテリー残量 LED | |
| 7. microSD カード用スロット | | |
| 8. フロント LED | | |
| 9. モーター | | |
| 10. プロペラ | | |

* ビジョンシステムおよび赤外線検知システムは、周辺環境の条件の影響を受けます。詳細については、免責事項、安全に関するガイドライン、ユーザーマニュアルをお読みになり、DJI GO™ 4 アプリまたは DJI 公式ウェブサイトのチュートリアルをご覧ください。 <http://www.dji.com/mavic-2>

** 最長飛行時間は無風状態で、定速 25km/h でテストしたものです。この値は参考値です。

送信機

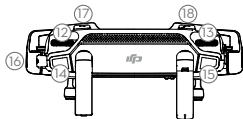
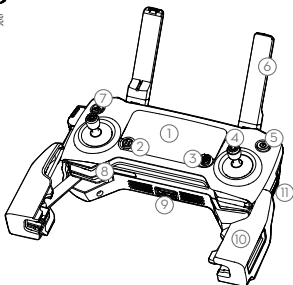
送信機には DJI の長距離伝送技術 OCUSSYNC™ 2.0 が内蔵されているので、最大伝送距離は 10 km（日本国内では 6 km）で、最大 1,080p の動画を機体からモバイル端末の DJI GO 4 アプリへ送信し表示します。搭載されている液晶画面にはリアルタイムで機体のデータ情報が表示されます。また、コントロールスティックは着脱可能であるため、送信機の格納が容易です。

最大稼働時間：2 時間 15 分*



折りたたんだ状態

1. LCD 液晶画面
2. フライト一時停止ボタン
3. 5D ボタン
4. 着脱可能コントロールスティック
5. 電源ボタン
6. アンテナ
7. RTH ボタン
8. コントロールスティック格納スロット
9. ビデオ・ダウンリンク・ポート 予備 (USB)
10. モバイル端末用クランプ
11. フライトモード・スイッチ



12. ジンバルダイヤル
13. 絞り/シャッター調整ダイヤル
14. 録画ボタン
15. フォーカス/シャッターボタン
16. ビデオダウンリンク/電源ポート (micro USB)
17. C1 ボタン (カスタマイズ可能)
18. C2 ボタン (カスタマイズ可能)

* 最大伝送距離 (FCC) は、障害物や電波干渉のないエリアで、機体の高度が約 120m のときに有効です。最大稼働時間は、ラボ環境でテストされています。この値は参考値です。

1. DJI GO 4 アプリのダウンロードとチュートリアルビデオの視聴

App Store または Google Play で「DJI GO 4」を検索するか、以下の QR コードをスキャンして、お手持ちのモバイル端末にアプリをダウンロードします。



DJI GO 4

www.dji.com/mavic-2/info#video にアクセスするか、DJI GO 4 アプリ画面の右上隅にあるアイコンをタップしてチュートリアルビデオを視聴します。



チュートリアルビデオ

⚠ DJI GO 4 は iOS 10.0.2 以降および Android 5.0 以降と互換性があります。

2. 機体の準備



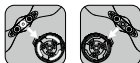
カメラからジンバルカバーを取り外します。



前方アームを展開します。



後方アームを展開します。



マークあり マークなし
プロペラをモーターに合わせます。



プロペラを下に向かって強く押して、ロック方向へ回転させます。

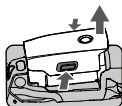


展開状態

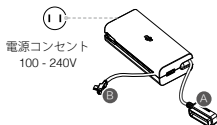
⚠ 前方のアームとプロペラを展開してから、後方アームとプロペラを展開します。離陸前にすべてのアームとプロペラを展開しておく必要があります。

3. バッテリーの充電

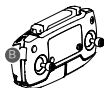
初めて使用する場合は、付属の充電器を使用して、インテリジェント・フライト・バッテリーを完全に充電しておきます。



インテリジェント・フライト・
バッテリーの取り外し



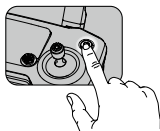
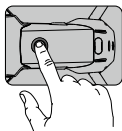
充電時間：
～1時間30分



充電時間：
～2時間15分

⚠ 充電する前に送信機のケーブルを取り外します。

・バッテリー残量の確認と電源のオン／オフ



BAT 100 PCT

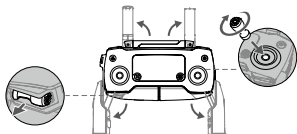
ボタンを1回押すと、バッテリー残量を確認できます。

ボタンを押してから、次に長押しすると、電源がオンまたはオフになります。

ボタンを1回押すと、液晶画面でバッテリー残量を確認できます。

ボタンを1回押し、次に長押しすると、送信機の電源がオンまたはオフになります。

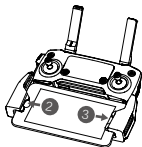
4. 送信機の準備



アンテナとモバイル端末用クランプを展開してから、コントロールスティックを取り付けます。



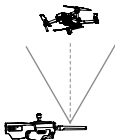
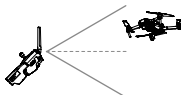
RC ケーブルの片端をスロット端に置きます。



クランプ内にモバイル端末を取り付けます。



アンテナをお互いに平行になるように取り付ける



最適な伝送範囲



- コントロールスティックをしっかり取り付けてください。
- Lightning コネクター付きの送信機ケーブルがデフォルトで装着されています。お使いのモバイル端末を送信機に接続するのに適切なケーブルを使用してください。iPad やタブレットを使用するときは、送信機の USB ポートを使用してください。
- ビデオリンクの際、Micro USB ポートと USB ポートを同時に使用しないでください。

5. 離陸の準備



送信機の電源を入れる



機体の電源を入れる



DJI GO 4 を起動する



インターネット

自分の DJI アカウントを使用して機体をアクティベーションします。アクティベーションするにはインターネット接続が必要です。

6. 飛行

離陸する前に、DJI GO 4 の機体ステータスバーに「Ready to Go」が表示されていることを確認してください。

Ready to Go (GPS)

・自動離陸／着陸



自動離陸



自動着陸

・手動での離陸／着陸

コンビネーション・スティック・
コマンドでモーター始動／停止



または



左スティックを
ゆっくり上に倒
して離陸



地面に着くまで、左スティックを（ゆっく
り）下に倒します。
数秒間そのまま保持してから、モーターを
停止します。



飛行中のモーター停止は、人体や物体への損傷・負傷のリスクを低減させる目的で緊急時のみ行ってください。モーターの停止方法は、DJI GO 4 で設定することができます。

・送信機操作

デフォルトのフライトコントロールはモード 2 です。左スティックで機体の高度と進行方向、右スティックで前進、後退、右回転、左回転をコントロールします。ジンバルダイヤルでカメラのチルト操作をコントロールします。

左スティック



右スティック



⚠ 飛行中に緊急ブレーキをかけるときは、フライト一時停止ボタンを押します。

・DJI GO 4



通常



ハイパーラプス



クイックショット



アクティブトラック



ポイント・オブ・
インタレスト



ウェイポイント



タップフライ



シネマティック
モード

- ⚠
- 詳細については、DJI GO 4 または DJI 公式ウェブサイトでご確認ください。
 - 離陸前に、必ず適切な Return-to-Home (RTH) 高度を設定してください。機体をホームポイントに戻す際は、コントロールスティックで誘導してください。

7. 安全なフライトのために



開けた場所での
飛行

+



強いGPS信号

+



視界の維持

+



120m未満の高度で
飛行



障害物、人混み、高電圧線、樹木、水域の近くで飛行させないでください。
電線や基地局などの強い電磁波域の周辺では、機体のコンパスが性能を発揮できないことがあるため、飛行させないでください。



10 m/s以上

雨、雪、霧、風速10m/s超などの悪天候時に機体を使用しないでください。



回転中のプロペラやモーターから
離れてください。



飛行禁止区域

詳細については、以下でご確認ください。
<http://www.dji.com/jp/flysafe/no-fly>



ご自身の安全と周りの人々の安全のため、基本的なフライトガイドラインを理解することが重要です。免責事項および安全に関するガイドラインを必ずお読みください。

仕様

• 機体

重量	907 g
最大速度	無風、スポーツモードで 72 km/h
運用限界高度	6,000 m
動作環境温度	-10 ~ 40°C
GNSS	GPS + GLONASS
動作周波数	2.4 ~ 2.4835 GHz、5.725 ~ 5.850 GHz (日本国内では 2.4 ~ 2.4835 GHz のみ利用可)
送信機出力 (EIRP)	2.4 GHz FCC : 26 dBm 以下、CE/MIC : 20 dBm 以下、SRRC : 20 dBm 以下 5.8 GHz FCC : 26 dBm 以下、CE : 14 dBm 以下、SRRC : 26 dBm 以下

• ジンバル

操作可能範囲	ピッチ : -90° ~ +30°
--------	-------------------

• カメラ

センサー	1 インチ CMOS、有効ピクセル数 : 20MP
レンズ	FOV : 約 77° 35 mm 判換算相当 : 28 mm 絞り : f/2.8 ~ f/11 フォーカス : 1m ~ ∞
ISO レンジ	動画 : 100 ~ 6400 静止画 : 100 ~ 3200 (オート)、100 ~ 12800 (マニュアル)
電子シャッター速度	8 ~ 1/8000 秒
最大静止画サイズ	5472 × 3648
静止画モード	シングルショット バーストモード : 3/5 フレーム オート露出ブラケット (AEB) : 0.7 EV バイアスでの 3/5 ブラケット トフレーム インターバル撮影
動画記録モード	4K Ultra HD : 3840 × 2160 24/25/30p 2.7K : 2688 × 1512 24/25/30/48/50/60p FHD : 1920 × 1080 24/25/30/48/50/60/120p
最大ビデオビットレート	100 Mbps
静止画	JPEG、DNG (RAW)
動画	MP4、MOV (MPEG-4 AVC/H.264、HEVC)
対応 SD カード	microSD 最大容量 : 128 GB (UHS-I スピードクラス 3 が必要)

• 送信機

動作周波数	2.4 ~ 2.4835 GHz、5.725 ~ 5.850 GHz (日本国内では 2.4 ~ 2.4835 GHz のみ利用可)
最大伝送距離 (障害物および干渉がないこと)	FCC : 10 km、CE/MIC : 6 km、SRRC : 6 km
動作環境温度	0 ~ 40°C

バッテリー	3950mAh @ 3.83V
送信機出力 (EIRP)	2.4 GHz FCC : 26 dBm 以下、CE/MIC : 20 dBm 以下、SRRC : 20 dBm 以下 5.8 GHz FCC : 26 dBm 以下、CE : 14 dBm 以下、SRRC : 26 dBm 以下
動作電圧	1800mA @ 3.83V (モバイル端末充電時)
対応モバイル端末 サイズ	対応厚さ: 6.5 ~ 8.5 mm、最大長: 160 mm 対応 USB ポートタイプ: Lightning、Micro USB (Type B) USB-C
• 充電器	
電圧	17.6 ± 0.1 V
定格出力	60 W
• インテリジェント・フライト・バッテリー	
容量	3850 mAh
電圧	17.6 V (最大) 15.4 V (標準)
バッテリータイプ	LiPo 4S
電力量	59.29 Wh
正味重量	約 297 g
充電温度範囲	5 ~ 40°C
最大充電電力	80 W

詳細については、以下にあるユーザーマニュアルを参照してください。
<http://www.dji.com/mavic-2>

※ このコンテンツは予告なく変更される場合があります。

MAVIC 2 PRO



オンラインサポートを利用するには、
このコードを Facebook Messenger で
スキャンしてください。



0M6DPARM05JP